

## レジバスビル/ソホスビル

Ledipasvir Acetate/Sofosbuvir

## ●ハーボニー(ギリアド・サイエンシス)

配合錠：レジバスビル90mg,  
ソホスビル400mg(1瓶28錠)

[特]a. レジバスビルはNS5A阻害薬.

b. 配合で1a, 1bに相加的に作用.  
c. 投与終了12週間後のSVR100%.

[効]RNA陽性の

1a, 1bC型慢性肝炎, C型代償性肝硬変

[用]1日1回1錠を12週間.

・ソホスビル製剤と併用禁.

[体内動態]a. ソホスビル→■■■頁.

b. レジバスビル：

- ・ピークは5時間, 半減期は50時間.
- ・便に排泄.
- ・P-gp及びBCRPの基質で阻害剤.
- ・肝・腎障害で血中濃度変化なし.

[警],[禁],[注],[併]

→ソホスビル■■■頁.

[注]a. アミオダロンとの併用は避ける

→徐脈等の不整脈→死亡例(海外)

- ・併用時は患者, 家族に徐脈等の重篤不整脈リスクを説明.
- ・不整脈の徴候, 症状(失神寸前, 失神, 浮動性めまい, ふらつき, 倦怠感, 脱力, 極度の疲労感, 息切れ, 胸痛, 錯乱, 記憶障害等)→医療者に連絡.
- ・併用開始後, 3日以上入院.  
心電図をモニタリング,  
退院後も2週間以上連日：  
心拍数を監視し, 不整脈に注意.
- ・アミオダロンの半減期9~53日  
と長いため中止後も注意.

b. β遮断薬又は心疾患, 重度の肝疾患：

→徐脈等のリスク大.

[患]1. 妊婦：安全性不明.

2. 授乳禁止.

[併]A. 禁：ソホスビル→■■■頁.

B. 慎：a. レジバスビルは

胃内のpH上昇で溶解性減

→血中濃度低下.

(制酸薬, 水酸化Al, 水酸化Mg,  
H<sub>2</sub>遮断薬, PPI) →効果減弱.

H<sub>2</sub>遮断薬は間隔を12時間開ける.

PPIは空腹時に同時投与.

b. 次の血漿中濃度上昇

ロスバスタチン(BCRP阻害)

→横紋筋融解症, ミオパチー.

ジゴキシン(腸管でのP-gp阻害).

テノホビル(P-gp, BCRPの阻害).

[副 21%]D. 貧血, 頭痛, 悪心, 便秘, 口内炎, 腹部不快感, そう痒, 発疹, 疲労.